

## 漁網のリサイクルによる鳥獣害防止ネットの活用事例

### 農業大学校(鳥侵入防止ネット:畜舎)

防鳥ネットとして漁網を利用

(マナガツオ網・サワラ網が利用に適している。底引き網はスズメの侵入も防げる網目であるが重量があるのが難点)



### 果樹園(イノシシ侵入防止柵)

(防風ネットが食い破られるので、地面から1m程度網を設置して獣類の侵入を防止。)

底引き網が利用できるが、網に付着している塩分・ミネラル補給のため、草食獣が食べる問題がある。



### 果樹園(防鳥ネットとして利用が可能)

(マナガツオ網・サワラ網が利用に適している。 田布施農林が果樹園で進めている 果樹用簡易防鳥網の天井部分に利用が可能。別添資料参照)



## 野菜畑(防鳥ネットとして利用が可能)

(野菜の防鳥ネットとしての利用が最適である。畑全体を覆うように施工することによって鳥からの食害を防止できる。ただし、マナガツオ網・サワラ網ではスズメなどの小鳥は防げない。)



## サル侵入防止柵に利用が可能

(猿落くんを参考にしてサル侵入防止柵を漁網で作ることが可能。側面にマナガツオ網・サワラ網を利用し、柵の上部にタテ網を使用することによって、サルが網に絡んで侵入時間をより稼ぐことができる。)



山口市仁保に設置されている猿落くん

(宇部市に設置されたサル柵は、網に遊びがなくしかもポールの上に侵入を妨げる網がないため、サルの侵入を防止できない。猿落くんのように上部が可動するポールに網を付けるか、網そのものがサルに絡まるような仕掛けが必要。)

(ポールの曲がり向きは外側に)



宇部市小野地区で自作されたサル柵

## 漁協が提供することが可能な漁網の種類



サワラ網 (網目6cm 約30×40m)  
(防鳥ネットとして利用)



ノリ網 (網目15cm・幅1.8m長さ約20m)  
(獣用 ウリ坊は通る。)



底引き網 (網目2cm 数種類の網が袋状に成形されている。)  
(獣用・防鳥ネットとして利用)



マナガツオ網 (網目6cm)  
(防鳥ネットとして利用)



タテ網 (幅1m 長さは20m程度)  
(タテ網は、太い網目と細かい網目が平行して並んでいるので絡みやすい。サルの侵入防止柵の上部に設置してサルの侵入防止に利用できる。)



タテ網 (幅1.6m 長さは20m程度)